






# あたらしくはいった こどもの本

秋田市立図書館ホームページURL

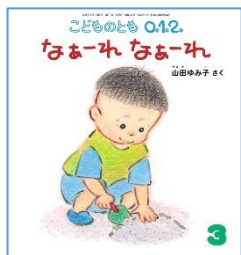


<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>

## おしらせ

子ども広場	かぞくぶっくぱっく	今月のテーマ展示
<p>「おはなしの会」による、年に一度のスペシャルおはなし会。人形劇や大型絵本などを上演します。 対象▶ 幼児から小学校低学年までの子どもと保護者 日時▶ 6月21日(日) 11:00~11:40 会場▶ 2階 研修ホール</p> 	<p>6月から本のお楽しみ袋『かぞくぶっくぱっく』がリニューアル！年齢別、ジャンル別にさまざまなぱっくを用意しています。「ガチャぱっく」もあります！ 新たな本との出会いのきっかけにぜひ借りてみてください。</p> 	<p>『スポーツ』</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●絵本(特集児童4)</li> <li>●読み物・ノンフィクション(カウンター展示1)</li> </ul>

## えほん



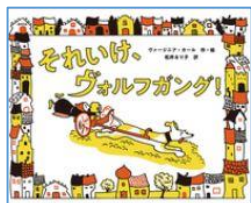
**なあーれ なあーれ**  
山田ゆみ子/さく  
福音館書店  
(Eヤ) ※1歳から

つみきをつんで「たかくなあーれ」。おうちができたよ。でんしゃをならべて「ひとつになあーれ」。つながったら、しゅっぱーつ。「おさら、おさら、きれいになあーれ」。もぐもぐ食べて、きれいになったら「ごちそうさま」。つぎはどんなことができるかな？



**コット、はじめてのドライブ**  
阿部結/著  
佼成出版社  
(Eア) ※3歳から

おとうさんと、はじめてのドライブに出かけたコット。通り雨や、はじめて見る湖から飛び立つ白鳥たち、そして山の向こうにしずむ夕日…。移りゆく景色をながめながら、おとうさんはコットに「変わっていくこと」と「変わらないこと」を教えてくださいます。



**それいけ、ヴォルフガング!**  
ヴァージニア・カール/作・絵  
松井るり子/訳  
徳間書店  
(Eカ) ※4歳から

大きな犬のヴォルフガングは、飼い主のおばあさんの役に立ちたいと思いますが、何をやっても失敗ばかり。ある日、おばあさんと一緒にミルクを売りにいくことになりませんが、はりきるあまり、勢いよく飛び出したヴォルフガングは、ミルクを全部こぼしてしまったのです。



**ほんとうのよるをさがして**  
マーシャ・ダイアン・アーノルド/ぶん  
スーザン・レーガン/え  
ひさやまたいち/やく 評論社  
(Eレ) ※6歳から

夜の町は、どこもかしこも建物や車の光であふれています。眠れずに巣穴から出てきたキツネは、小さな虫と一緒に夜のくらやみをさがしにいきます。沼地や山などをさがし歩こうと、同じように困っている動物たちに出会い、みんなで海辺にやってくると…。

## 低学年向き



### みつばちのルビー

前田まゆみ／作  
アリス館  
(91マ)

ルビーは、元気なニホンミツバチの女の子。おせわをしてくれたお姉さんのマービーや、きょうだいたちと暮らしています。はたらきばちとしてたくましく生きるルビーの成長とともに、ミツバチの生態や巣の中の様子についてくわしく知ることができます。



### なぞなぞ

安野光雅／さく・え  
福音館書店  
(Eア)

シンデレラや桃太郎、七福神に火星人など、みたことはなくても名前はよく知られているひとたちが登場するなぞなぞの絵本です。自分のイメージとくらべておなじみの姿だったり、思いがけない姿だったり、答えが分かってもながめていたくなる絵本です。

## 中学年向き



### あいことばはアバイケポン

ばんひろこ／作 羽尻利門／絵  
新日本出版社  
(91バ)

小学3年生のめいとたいきは、保育園のころからずっと友達です。ある日、二人は同じクラスの子の行動が許せなくて、怒って悪口を言いました。そのことを先生に注意されましたが、納得がいきません。そこで、自分たちにしか分からない史上最強の悪口言葉を作ることにしました。

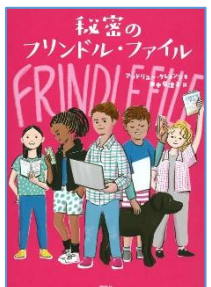


### ハヤタケ先生のこども魚食大百科

早武忠利／著  
少年写真新聞社  
(66)

私たちが日常食べている魚介類の、食べる前の姿を観察したことはありますか？すんでいた場所や泳ぐ速さ、エサのとり方によって、口やヒレの形も様々です。この図鑑では、魚たちの生態や食べる時のポイント、魚のさばき方などを豊富な写真と一緒に紹介しています。

## 高学年以上



### 秘密のフリンドル・ファイル

アンドリュー・クレメンツ／著  
田中奈津子／訳  
講談社  
(93ク)

時代遅れで古くさい授業をするN先生は、一昔前に「ペン」を「フリンドル」と呼んで流行させた、伝説の少年ニコラス・アレンではないか？それに気づいたジョシュは、作文の中で「フリンディー」という新しい言葉を使って、N先生の反応を確かめようとしますが、思わぬ展開に。『合言葉はフリンドル！』の続編です。



### 大人も知らない？ ふしぎなバイアス事典

ふしぎなバイアス研究会／編  
マイクロマガジン社  
(14)

「バイアス」はだれの中にもある考え方のクセ。直感的に物事を判断するのに役立ちますが、思い込みや決めつけでトラブルになることも。売り上げ1位の商品が気になるのは「バンドワゴン効果」、夏休みの宿題が思ったように進まないのは「計画錯誤」。バイアスを知って自分の考え方や行動を見直してみませんか？